

# 議会広報

# いえざん



▲与那城君・又吉氏・山城氏の合同祝賀会

勝敗は!?

- ◆一般質問……………P2
- ◆議決結果……………P10
- ◆議会を傍聴しました……………P11
- ◆米軍艦船の伊江港入港に関する意見書…P12

- ◆米軍艦船の伊江港入港に関する要請…P13
- ◆研修報告・受賞報告……………P14
- ◆議会の活動……………P15
- ◆題字提供はこの方……………P16

議会広報  
いえざん

第152号  
平成28年3月1日

発行／伊江村議会  
TEL:0980-49-2924  
編集・印刷／(有)サンエス  
TEL:098-889-7421

**どうぞ  
傍聴席へ**



TEL 0980-49-2924(直通)



▲題字を書いていただいた本山 美代さん(真謝区 ムトウヤマンヤー)

## 題字執筆者紹介

本山美代さん(大正15年生まれ満89才)  
在宅からデイサービスを利用されています。「雨プレー、ドラム缶マーチィ、水クダシガヤー」(雨が降ったらドラム缶に水を汲んで集めた)と戦後の水不足の苦労話しや、当時の島の暮らしぶりなどを職員にユーモアを交えてお話しされるしっかり者の利用者さんです。題字もスラスラと書いて下さいました。



▲笑顔のかわいい美代さん

## 編集後記

議会広報委員会に所属し一年ちょっと、まだまだ不慣れな所もあり、日々、広報に対し勉強する今日です。  
ただ、村民の方々から「議会広報誌読んだよ! 議員の皆さん頑張っているね~!」とお声を掛けていただいた時は、とても嬉しく思います。村民に伝える・伝わる議会広報を目指し、広報委員会を力を合わせて務めたいと思います。

議会広報特別委員会 委員 島袋勉





# 村政の ここを問う!



名嘉實議冒

# 1. 米軍のF35-Bステルス戦闘機・CV-22オスプレイの着艦訓練場及び駐機場建設画

問 今年の3月定例議会で、F35－Bステルス戦闘機の着艦訓練場、強襲揚陸艦（LHD）模擬甲板の改修強化計画に反対することを求め、村長の見解をただしました。

10月31日付沖縄タイムスは、改修計画がある伊江島米軍基地には、F35－Bの訓練のための強襲揚陸艦の模擬甲板だけではなく、2017年に米空軍横田基地に配備される予定のC2V－22オスプレイとF35－Bの駐機場を設置する計画であることを図面で示し報じました。また11月22日付しんぶん赤旗は、改修計画の全体図を載せ、飛行場の長さが現在の2倍以上になることを報道しました。さ

ビは、午後7時からNew S Q + 拡大版で「伊江島に見る負担軽減の嘘」のタイトルをつけ、伊江島米軍基地周辺住民の声を報道しました。強襲揚陸艦（LHD）模擬甲板の改修計画は、F35-Bやオスプレイの高温の噴射熱にも耐えられる特殊なコンクリートが使用され、アルミ板のようにはがして撤去できるようなものではなく、半永久的な施設になります。計画が図面で示された以上、もう「知らぬ存ぜぬ」は通用しません。

目的に計画を実施することなく、看過で済むものではなく、沖縄防衛局には米軍に対し、LHDデッキ等改良工事の中止を申し入れるよう要請をしているところであります。

**問** 地元住民は基地周辺住民は、粉塵被害と爆音で、被害しかない。自分たちには何の被害補償もない。一体この怒りをどこにぶつければいいのかという方もいます。その地域の皆さんとの声をどう感じますか。

**答** 住宅防音もずっと要請を今後においてもその辺は強力にやつていきたいと思っており、F35ーB改修計画の中でも、やはり今後その辺の騒音対策、多くの基地軽減に向けた取

**答** 名嘉議員は私が米軍に中止を要請したと  
いうことが反対ということに捉えているかもわかりま  
せんが、私はそうではなくて、情報提供がなされない  
現状の中においては、工事を中止してほしいというこ  
とをこの中で申し上げてい  
るわけであります。

いりますが、新たな情勢のものとでの村長の見解を伺いたい。

**答** 村内の生コン業者の方々に情報を求め入札情報がございましたので、そういう関係の業者にも情報提供を求めた。ハリアーの訓練場を受け入れたからF35－Bステルス戦闘機もオーケーと。反対できないうことではないと私は思います。全然違うんだから中だから、何をつくられても反対できないということではないんです。そういう中でこのハリアーの後継機であります。反対すべきこと

り組みが必要だと思つてお  
りますので、村として周辺  
の地元の区、議会も含めて  
やる中で、どのようにしたた  
らその辺の部分の軽減が図  
られるか議会が終わりまし  
たらこの辺のまた要請もし  
ながら、期限的な部分をい  
つまで定めて、国のほうに  
要望していくかは、防衛局  
に訪ねるまでに決めていき  
たいと思つております。

**問 村長／今後は県の一括交付金事業を活用した助成について要望したい  
平成15年から始まり一年の県内観光バス料金の太**



四庫全書

（民泊）も今年で13年目となり、年々増え続けて5万人余が本村を訪れていることは周知のとおりであります。過去の日帰り観光中心から体験宿泊型へ変わり、本村観光振興への貢献や、経済波及効果も計り知れないものがあります。しかし、村民との生活を通じ触れ合いやさまざまな文化、平和学習等伊江島ならではの体験をし、またリピーターとして再度島を訪れる皆さんも多くいます。この民泊を機として、また数名の皆さんが伊江島に永住をされている方が多いと聞いております。しかし、来年は微減はするものの、平成29年には78校、1万4,742人に減るといふことがあります。これは昨

幅値上げで、生徒一人当たりの修学旅行予算が限られたり、沖縄への民泊を含めた修学旅行が難しくなったとすることあります。

参考までに述べますけれども、県内大型バスの料金人乗りでありますけれども、これは那覇～本部間往復、値上げ前は5万5,000円、これは45人で割りますと1人当たり1,222円、値上げ後が10万円、1人当たり2,222円となつております。沖縄県全体で観光入域目標が1,000万人の目標がありますが、今年は800万人を超えると言われておられます。来年以降、バス料金の値上げが今後の沖縄観光、すなわち伊江島民泊事業に影響が出ると危惧している

だきます。助成額の設定で変動はございますが、仮に民家体験宿泊者5万人へ村民同様の810円の助成を行つた場合、4,050万円になり、船舶事業を圧迫し、大変厳しい状況になります。また一般会計と折半をしても同様に厳しい状況に変わりはありません。このことから村の単独事業としてのフエリーや運賃の一部助成は困難なものと考えております。

また県事業による離島住民割引運賃による交通コスト負担軽減につきましても、離島で生活する住民に対して、生活支援を行うものであり、観光で入域する民家宿泊体験者への制度拡充は現状では極めて困難なものと認識をしているところであり

問 当初は4校317人でありました。これが毎年多くなり今では5万人余りの高校生、中学生が本村を訪れております。しかしながら、来年まで大体同じ数字が出ておりまが、平成29年、再来年は78校1万8,723人に激減というふうになつています。1つの要因は、先ほど申し上げましたとおり、県内バス料金の値上げということで、大幅にこの予算がオーバーするということです。中学生の場合、特に関西から島に見えていた学校が1人当たり6万円という予算の積み立てもしていりますが、こういうふうな状況でありますと、沖縄には行けない。大阪府、京都府、滋賀県3府県の地域

賃、バス賃の値上げによつて、そういう事態に陥るといふのはなかなか予想しがたい部分でして、これまでにはやはり質の高い伊江島の民泊、あるいはほかの地域とは差別化した非常にヒューマンツーリズムという部分の伊江島の民泊をよりよく提供していくことが将来的にもずっと5万、6万人の民泊の受け入れにつながるという部分で、関係者も含め、早目に伊江村の観光振興推進協議会を立ち上げて、その辺も含めて伊江村の全体の観光振興にまた皆さん御協力もいただきながら、積極的に努力をしていきたい。

ところであります。民泊事業を継続する観点から、何らかの方策を模索すべきと考えます。その1つとしては、民間宿泊体験者へのフェリー運賃の一部助成ができるいか伺います。村財政で莫大な予算が伴うということも承知しております。もし村独自では困難な場合、県内観光関連団体とのさらなる連携、沖縄県が行う一括交付金事業、離島住民割引運賃を離島への交通コスト負担軽減として、民家

しかし、伊江村が沖縄県での民家体験泊事業のパイオニアとしてリードしてきましたから、議員お説の現状は、これから沖縄修学旅行の形態にも憂慮され、沖縄県や関連団体とも連携し、全県的な課題として情報の共有が必要と感じております。去る11月4日に来村されました翁長沖縄県知事に対しましても、口頭ではございますが、私から伊江村の民泊

九州は行くといふ情勢がおるようです。今この3府県でも学校数が多い年に、平成26年に57校1万2,000人余りの生徒が伊江島を訪れておりました。これが再来年、平成29年には9校1,463人に減るということで、たしか両事業所の現時点でこれまで2年後の数字がほぼ80%ぐらい確定していたということです。しかし、再来年あたりは9校ということですから、これはかなり深刻





第9回定例会(平成27年12月17日から18日)では、伊江中学校3年生、西小学校6年生の皆さん、村婦人会の役員の皆さんが議会を傍聴してくれました。その中から西小学校6年生の皆さんが感想文を書いて届けてくれましたので一部を紹介したいと思います。



▲西小学校6年生



▲西小学校6年生



▲伊江中学校3年生傍聴風景

### 「将来僕も」

西小学校 6年 知念 龍玖 りゅうく

議会の話で僕が一番気になった事はマイナンバーです。なぜならマイナンバーの件を一番長く話をしていたからです。今、マイナンバーが重要な事がわかりましたが、僕はマイナンバーが無い方が良いと思いました。なぜならトラブルになりやすいのではと思いました。また議会では、お金の使い方を決めるので何度も質問して答えて、また質問して納得したら話し合いが終わりました。話し合いをしてる内容は村の道路の事だったり、多目的運動場の新築工事についてだったり、村民にとって大切な内容だった。僕が議会を見て思ったことは議員の人達はトラブルが起らないように何回も質問していたところが凄いと思いました。将来僕も投票する時はしっかり考えてから投票したいと思いました。

### 「伊江村を良くするため」

西小学校 6年 玉城 祐希 ゆうき

私が議会見学に行って、伊江村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について話していました。もしカードをなくしたり、落としたカードを悪用されたらどうなるのか、子供は顔が変わっていくから写真はどうなるのかという質問で議員さん達は、いろいろな目線から見てすごいなと思いました。また、仕事がうまく進んでいるか確認する事や、新しく始める仕事がスムーズに進められるか話し合っていて、伊江村を良くするために議員さんは頑張っている事がわかりました。



▲伊江中学校3年生と村婦人会役員傍聴風景

### 議決の結果

平成27年第9回定例会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
認定第7号	村道の路線変更について	村長	12月18日	原案認定
報告第15号	伊江村多目的屋内運動場新築工事(建築)の専決処分の報告について	村長	12月18日	原案報告
報告第16号	伊江村多目的屋内運動場新築工事(電気)の専決処分の報告について	村長	12月18日	原案報告
報告第17号	伊江村多目的屋内運動場新築工事(機械)の専決処分の報告について	村長	12月18日	原案報告
議案第82号	平成27年度伊江村一般会計補正予算(第6号)	村長	12月18日	原案可決
議案第83号	平成27年度伊江村診療所特別会計補正予算(第4号)	村長	12月18日	原案可決
議案第84号	平成27年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	村長	12月18日	原案可決
議案第85号	平成27年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	村長	12月18日	原案可決
議案第86号	平成27年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第1号)	村長	12月18日	原案可決
議案第87号	伊江村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	村長	12月18日	原案可決
議案第88号	伊江村情報公開及び個人情報保護に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	村長	12月18日	原案可決
議案第89号	伊江村公用並びに公共用施設整備基金条例の制定について	村長	12月18日	原案可決
議案第90号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について	村長	12月18日	原案可決
議案第91号	伊江村堆肥センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	12月18日	原案可決
議案第92号	伊江村子育て支援金に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	12月18日	原案可決
議案第93号	伊江村税条例等の一部を改正する条例の制定について	村長	12月18日	原案可決
議案第94号	伊江村固定資産評価審査委員会条例の全部を改正する条例の制定について	村長	12月18日	原案可決
議案第95号	肉用牛集出荷施設機能改善事業(伊江家畜市場誘導レール設置業務)の契約について	村長	12月18日	原案可決
議案第96号	気象観測機器設置整備事業(気象観測機器購入)の契約について	村長	12月18日	原案可決
議案第97号	青少年旅行村駐車場整備工事の請負契約について	村長	12月18日	原案可決
議案第98号	村道城山前線道路改良舗装工事の請負契約の変更について	村長	12月18日	原案可決
議案第99号	西崎漁港防波堤整備工事の請負契約の変更について	村長	12月18日	原案可決
議案第100号	伊江小学校校庭整備工事の請負契約の変更について	村長	12月18日	原案可決

### 議決の結果

平成28年第1回臨時会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
承認第1号	専決処分した伊江村税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の承認を求めるについて	村長	2月5日	原案承認
議案第1号	多目的屋内運動場備品購入(スポーツ備品)の契約について	村長	2月5日	原案可決
議案第2号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	2月5日	原案可決
議案第3号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	2月5日	原案可決
議案第4号	伊江村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	2月5日	原案可決
議案第5号	平成27年度伊江村一般会計補正予算(第7号)	村長	2月5日	原案可決
議案第6号	平成27年度伊江村診療所特別会計補正予算(第5号)	村長	2月5日	原案可決
議案第7号	平成27年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	村長	2月5日	原案可決
議案第8号	平成27年伊江村水道事業会計補正予算(第1号)	村長	2月5日	原案可決
議案第9号	平成27年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第2号)	村長	2月5日	原案可決
意見書第1号	米軍艦船伊江港入港に関する意見書(案)	議員	2月5日	原案採択
決議第1号	米軍艦船伊江港入港に関する抗議決議(案)	議員	2月5日	原案採択

## 米軍艦船の伊江港入港に関する要請



LCU2014・2022伊江港入港状況

米陸軍所属の揚陸艇「LCU2014・2022」2隻が海兵隊及び陸軍の大型野営訓練に伴い1月26日から1月29日までの4日間伊江港に入港した。入港に対し本村議会では2月5日の臨時議会において、意見書・抗議決議書を採択した後、2月8日に沖縄防衛局長 井上一徳氏・外務省沖縄担当特命全権大使 水上正史氏へ全議員及び村長と共に要請を行った。

また、抗議決議書を駐日米国大使・在日米軍司令官・在日米軍沖縄地域調整官・在沖米国総領事・海兵隊太平洋基地在沖米海兵隊基地政務外交部(G-7)へ郵送した。



▲沖縄防衛局へ要請



▲外務省沖縄事務所へ要請

## 米軍艦船の伊江港入港に関する意見書

米陸軍所属の揚陸艇「LCU2014・2022」2隻が海兵隊及び陸軍の大型野営訓練に伴い1月26日から1月29日までの4日間伊江港に入港した。これまで本村提供地内の演習で使う物資の輸送は、民間船をチャーターしていたが今回初めて米軍艦船が直接伊江港に入港し、機材や隊員の輸送を実施した。入港初日の1月26日には、米兵約80名が県道を米軍演習場向けに4列で行軍しているのも確認されており、その途中には幼稚園、小学校があり村民特に教育関係者への影響は大きく到底容認できるものではない。また翌日27日には、午前8時出航のフェリーが、揚陸艇の伊江港入港の遅れが原因で出航及び到着時間が7分間遅れるという大変憂慮すべき事態が発生した。「村民生活の足」であるフェリーの本部港への入港遅れが原因でバスに乗り遅れた方々もおられ、多くの人々に多大な損害をもたらしたことは許しがたい事態を招いたと言わざるを得ない。

今回の米軍による一連の行為は、村民だけでなく村外から来た観光客の不安要因となることが予想される。本村においては、毎年在沖米軍による訓練事故が数件発生しており、その何れの事故も一步間違えば大惨事となる可能性もあった。

伊江村議会は、これまで在沖米軍による事件・事故に対し厳重に抗議し、原因究明と再発防止を再三再四強く要請してきた。今なお村民、特に基地周辺住民は基地から派生する騒音や、事件・事故等で大きな被害を被っている現状において、村民感情を逆なでする今回の一連の行為は到底受け入れられないものであり強い憤りを感じるものである。

以上の事から、本村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に対し今後の艦船入港に反対し抗議するものである。

### 記

1. 村民及び村民生活に悪影響を及ぼす米軍艦船の伊江港入港を止めること。
2. 村民及び観光客等に不安を与える民間地域での米兵による行軍等を止めること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年2月5日  
沖縄県国頭郡伊江村議会

宛 先  
内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣  
沖縄防衛局長 外務省沖縄担当特命全権大使

